



東京八王子プロバスクラブ

創立 1995 年 10 月 18 日

プロバスだより

2009年12月10日発行

<http://www.tokyo-hachioji-probusclub.jp>

第169号

編集・発行：情報委員会

2009～10年度テーマ

広げよう！ プロバスクラブの楽しみの『環』

第169回例会

日時：平成21年11月12日 8:30~10:00

場所：本日は都心への野外研修のため、往路バス車内で例会を行います。

出席者： 44名 出席率 70.9%
(会員総数66名、休会4名)

ご来賓：ございません

1. 宮城例会委員長の司会で開会
2. 下山会長挨拶、



皆さん、おはようございます。今日は寒いなか、朝早くからの集まり、ご苦勞様です。今日は、研修ツアーで、バス

の中ですので、話は簡単に一つだけ。この15日、16日の全日本プロバス協議会理事会総会、それにあわせての交流会が、いよいよ開催となります。まだ空席がありますので、16日に都合がつく方は、今からでも申し出てください。今日は研修委員会の皆さん、ご準備ありがとうございました。お礼を申し上げて終了とします。

3. ハッピーコイン報告

下山会長より、11名の方からのハッピーコインの紹介がありました。(詳細は5頁)

4. バースデー報告

下山会長から、ハッピーコインの報告に引き続き、11月のバースデー報告がされました。今月は、渋谷文雄、石田雅巳、東山栄、近藤泰雲、山崎修司、杉山友一、増田由明の7名の会員で、池田ときえ会員手作りのバースデーカードが贈られました。

5. 幹事報告 荒幹事

①第2回全日本プロバス協議会理事会と、それを機

に開かれる交流会がいよいよ、11月15日、16日と迫ってきました。立川全日本プロバス協議会副会長と山崎交流担当理事のもと、準備もほぼ整い、あとは当日を待つばかりです。参加人員は2日にわたりますので、延べ人員は110名前後になります。

②第30回いちょう祭が、11月21日、22日と開催されます。ついては毎年のことですが、当プロバスクラブ(以下PC)からも祭の本部に延べ20名の会員の皆様を派遣することになっております。参加いただく方には、早急に日時を連絡させていただきますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

③先月お知らせした「横浜港南台プロバスクラブ・まろにえ」の創立記念祝賀パーティと市民を対象にした記念講演会に、立川全日本プロバス協議会副会長と山崎交流担当理事が出席し、ともに素晴らしい会だったと報告を受けました。また、最初にお話した八王子で行う交流会にも、会長の小野里康興様と、事務局長池下高志様が参加下さる予定です。

④柏崎で行われました新潟県内のPC交流会については、会長と幹事の私が参加いたしました。新潟PC、上越PC、柏崎PCの会員が50名ほど集まり、相互に、活動状況の報告と互いに協力すべき議題など提案され、活発な意見交換がなされました。

6. 各委員会報告

(1) 例会委員会 宮城委員長



本日の参加者は、44名です。ハッピーコインも11名の方に寄せていただきました。この原稿は情報委員会の八木会員にお渡し

し、プロバスだよりに掲載とします。

(2) 情報委員会 八木副委員長

プロバスだより第168号を発行しました。通常の記録のほか、ハッピーコインの報告記事や多

くの投稿記事を掲載しましたので、増頁しました。投稿は、阿部幸子会員、飯田富美子会員、熊田真瑜美会員、小林貞男会員の4名の方からの掲載しました。今後も、気楽に半頁程の長さの記事の投稿をお願いします。

(3) 会員委員会 岡本委員長

会員総数66名、休会4名、実働会員62名
先日宮田正美会員が入会されましたが、平原俊彦会員が他界され、会員の増減はありません。

12月に新会員が入会予定です。また、武田洋一郎会員が住所変更をされました。次回通知いたします。

(4) 研修委員会 佐々木委員長



先の同好会アンケートにもとづき企画した2つの同好会について説明いたします。

1つは、美術鑑賞同好会で、第1回の行事案内をいたします。期日は12月1日、10時30分集合。国立西洋博物館で、『古代ローマ帝国の遺跡』を見学します。参加の方は今日中にお申し込みください。2つめは、マージャン同好会で、澤渡進会員より説明します。

(澤渡進会員)

「賭けない、飲まない、吸わない」をモットーに、女性・初心者優しく、をめざします。12月15日(火)13時～17時に予定しています。参加希望の方は、日程を空けておいてください。

(5) 地域奉仕委員会 土井俊雄会員

「第14回生涯学習サロンへのお誘い」案内状がまとまりました。プログラム記載の会場A・B・C・Dは、一般会員の参加状況により変更の可能性があります。10月19日の歴史の会の資料が若干残っていますので、希望者はお申し出ください。

(6) 交流担当 山崎理事

11月15日(日)～16(月)全日本プロバス協議会理事会・交流会の参加者に資料を配布しました。15日のウェルカムパーティは、京王プラザホテルのル・クレールに17時40分集合。16日の交流会は、同ホテル5階翔王の間に12時集合です。会席に余裕がありますので、今からでも、お申し込みください。

7. 同好会報告

ゴルフ同好会：(米林会員)11月26日、相武カントリーでのコンペの後、京王プラザホテルで表彰式・懇親会を行います。

お茶の会：(阿部治子会員)12月8日(火)15時より、阿部治子会員宅で、納会の後、忘年会を行います。

8. 閉会の辞 杉山副会長挨拶

10月より始まったハッピーコインへのご協力ありがとうございます。私の誕生日が11月なので、今日バースデーカードをいただきましたが、素晴らしい出来栄で感激しています。作成してくださった池田ときえ会員に改めて感謝です。8月、9月にお生まれの方は、来期までお待ちのほどを。

野外研修

一明治の代表建築と科学技術の仕組を観る一

上野池之端の旧岩崎邸庭園(現都立庭園)、日本銀行本店(貨幣博物館を含む)、北の丸公園内の科学技術館の3か所を廻りました。バス車内での例会後、配布された資料を基に、佐々木正研修委員長、佐々木研吾会員から訪問先の説明を受け、予備知識を得て現地に向かいました。

集合 午前7時45分 JR八王子南口たましん前
八王子 ⇒ 旧岩崎邸庭園 ⇒ 昼食(東天紅)
8:00 9:50～11:00 11:20～12:10
⇒日本銀行本店 ⇒ 科学技術館 ⇒ 八王子
12:40～14:20 15:05～16:00 17:30

[旧岩崎邸庭園]

明治29年、東京下谷区茅町に日本の建築史に残る洋館が建った。三菱創設者・岩崎家本邸宅で、設計は、ジョサイア・コンドル。完成当時の20棟以上の洋館、和館のうち、現存する館が木造2階建ての本格的な洋風、明治期の上層階級の邸宅である。書院造りを基調とした和館の現存する建物も当時の面影を偲ばせる。東天紅で、昼食を楽しみ、休息をとった後、再びバスにて日本銀行に向かう。先に併設の貨幣博物館を訪れ、続いて日本銀行を見学する。



[日本銀行本店]

岩崎邸と同じ明治 29 年に建てられた日本銀行本店。

100 年以上使用された旧地下金庫をはじめ、旧館建物内部を見学しながら、日銀の歴史や業務内容の説明を受ける。隣接の貨幣博物館では、日本古代からの貨幣や、世界各国の貨幣等、興味深い。次に、プロバスクラブのメンバーは少々戸惑うような展示の多い、科学技術館へと向かう。



[科学技術館]



科学技術館は、北の丸公園の中にあり、体験型の技術系の博物館。観て、触って、体全体を使って体感し、自らの知識、体験に応じて

科学、技術に対する興味、関心を深めてもらう仕組み。身近な科学の不思議から、宇宙を取り巻くさまざまな不思議、科学を利用して発達させてきたさまざまな営みをいろいろな角度から体験できた。見学コースの最後に、「シンラドーム」で、専用めがねを用いて、宇宙観察を楽しむ。

帰りのバスの中では、昼食時我慢していたビールが提供され、ほろ酔い機嫌で、八王子に帰着しました。

全日本プロバス協議会交流会

ウェルカムパーティ

平成 21 年 11 月 15 日 18 時～20 時

場所 京王プラザホテル 2 階 ル・クレール

全日本プロバス協議会の金森会長、副会長、幹事長、理事の方々等、21 名と、八王子プロバスクラブの下山会長以下 14 名が一堂に会しました。下山会長の“ようこそ八王子へ”の歓迎の挨拶、金森会長の“百まで元気で”の挨拶後、立川副会長の乾杯で、会はスタートしました。関西以東で初めての会でしたが、プロビアン同志と言う気軽さと、アルコールの影響で、百年の知己の感じで会話が弾み、和やかな雰囲気の中、一夜を過ごし、お客様も満足の様子でした。出席者の皆様に感謝いたします。

理事会

全日本プロバス協議会の理事会は 11 月 16 日(月)

午前 10 時から、3 階コスモスの間で開かれました。協議会の会長、副会長、幹事長、監査、理事が、北は旭川から、南は鹿児島まで、14 名が参加されました。他に各クラブから、オブザーバーとして同行の方が 15 名おられ、総計 29 名の会議となりました。当プロバスクラブからはもちろん、立川全日本プロバス協議会副会長が出席し、下山、杉山の 2 名が傍聴させて頂きました。

議事は次回総会(旭川)での議題について、次回の理事会の開催について、および次々回の総会の開催についてなどでした。追加として、プロバスクラブ設立に関して、ロータリーとの関係について基本認識の共有の話し合いもありました。

交流会

平成 21 年 11 月 16 日 12 時 30 分～15 時 30 分
場所 京王プラザホテル 5 階 翔王の間

全日本プロバス協議会理事会に引き続き、交流会が開催されました。北は、北海道旭川プロバスクラブから、南は九州鹿児島中央プロバスクラブと、17 のプロバスクラブが一堂に会し、当クラブ杉山副会長の司会により、式次第が進行しました。

歓迎の挨拶

東京八王子プロバスクラブ 下山邦夫会長

昨日のウェルカムパーティ、本日午前中の理事会に引き続き、交流会を開催できましたこと感謝申し上げます。この交流会の場を、有効に活用していただき何かを得て帰っていただければ幸いです。

全日本プロバス協議会 金森正夫会長

(元全国中等学校野球大会の甲子園球児)

「和敬静寂」の言葉を引き合いに、相手を敬うことにより、よりよい交流が出来、大きな輪になると話されました。



来賓挨拶 東京八王子南 R C 山下正明会長

東京八王子プロバスクラブは、東京八王子南ロータリークラブ創立 10 周年記念事業として発足しま



した。ロータリークラブは地区レベルでの会合になり、プロバスクラブは、全国に及ぶ会合が出来ます。これからのますますの発展を祈念いたします。

来賓・理事クラブ紹介

司会の杉山副会長から来賓紹介がありました。

八王子市長	黒須隆一様
東京八王子RC会長	山下正明様
八王子市民活動協議会会長	石井利一様
東京八王子南RC幹事	森田貢士様
東京八王子南RC	酢屋善元様
東京八王子南RC	広瀬武彦様

続いて、全日本プロバスクラブ協議会吉川哲朗幹事より、理事クラブの紹介がありました。

PC京都	北九州PC
東京八王子PC	大阪PC
神戸北PC	尼崎PC
旭川PC	青森PC
鎌倉PC	PC松任
加西PC	徳山PC
福岡城東PC	鹿児島中央PC

(以上14プロバスクラブ)

乾杯の音頭



吉川哲朗幹事の音頭で乾杯を行い、食事をしながらの懇談に入りました。

懇談の途中、黒須八王子市長が来場され、ご挨拶をいただきました。

ご挨拶 八王子市 黒須隆一市長



全日本プロバス協議会理事会並びに交流会の開催おめでとうございます。その開催地に八王子をお選びいただき感謝申し上げます。全国で103のプロバ

スクラブが、その名の通り、専門を生かした活躍をなされていますこと、まことに敬服の至りです。この折に、八王子を少し紹介させていただきます。

人口は56万人、織物の町、車人形等の伝統文化、ミシュランで有名な高尾山等で知られています。

大学が21校、学生11万人、市内在住の学生は2万人、全国有数の学園都市でもあります。製造業は2千社、そのうち、1割が先端技術の会社で、世界でも、1・2位を争う企業があります。本日の交流会が、有意義となりますよう祈念してご挨拶とします。

交流会参加プロバスクラブ紹介

懇親会の頃合を見はからって、参加プロバスクラブの紹介があり、該当クラブの会員は起立し、紹介を受けました。

PC京都	北九州PC
大阪PC	神戸北PC
尼崎PC	旭川PC
青森PC	東京多摩PC
四街道PC	横濱PC
横浜港南台PC	鎌倉PC
加西PC	徳山PC
福岡城東PC	鹿児島中央PC
東京八王子PC	(以上、17プロバスクラブ)

旭川プロバスクラブは、会員数が100名に近く、日本で最多会員数のクラブで、来年の全日本プロバス協議会総会を開催予定、との紹介がありました。



八王子車人形演舞

全国から、お集まりのプロビアンに八王子の伝統芸能・八王子車人形をご披露しました。

車人形、西川古流座の家元による、伝統的な三番叟、娘道成寺や近く訪欧の為に準備されたフラメンコの踊りの演舞もあり、参加の皆様方にもご満足をいただけた様子でした。

こうして予定の2時間半はあっという間に過ぎ去り、最後に参加者全員の記念撮影のあと、解散となりました。

大野聖二会員にいちよう祭り感謝状

11月22日に開催された「八王子いちよう祭り第



30回記念式典」において、長年にわたって同祭典委員会会長としてその発展に尽力された大野聖二会員に対して、黒須隆一八王子市長から感謝状が贈られました。

「八王子いちよう祭り」は1979年(昭和54年)大野会員の提唱によって始められた市民手作りのお祭りで、追分一小仏閣所跡間のオリエンテーリング、クラシックカーパレードをはじめ、数々のイベント、物産展などで親しまれ、毎年30万人を超す人出で賑わっています。

囲碁大会

10月30日、31日の2日間にわたり、藤野の陣谷温泉、陣馬の湯の宿で行われました。参加者は9名。2日間とも秋晴れの好天气に恵まれ、山の紅葉もそろそろ紅葉を迎えた中での大会でした。この泊りがけの囲碁大会も、5回目を迎え、日頃の修練の成果を発揮、熱戦が繰り広げられました。実力が伯仲し、最後まで誰が優勝するのか、わからない状況でした。その結果、矢崎安弘会員が優勝、参加者全員が充実した2日間を過ごしました。



茶会に参加して

矢崎 安弘

10月25日(日)、クリエートホールにて煎茶の茶会が催され、多数の参加者に混じって、プロバスクラブ会員も十数名参加しました。これは八王子市が主催する「第59回八王子市民文化祭」の一部で、清泉幽茗流(古川会員が家元)の清泉会と、東阿部流(阿部治子会員)の白映会が合同で開催したものでした。第一席は、清泉会が担当し、洋室で椅子とテーブルに20名近くの客が着席しての茶会でした。そして席主はなんと土井俊玄会員の奥様でした。一煎は玉露で、極少量の湯で殆どなめるだけで、香りを楽しむのが主目的のようでした。二煎はやや湯の量が増え、苦味が増したようです。秋の季節にふさわしい「月」がメインテーマで、月に見立てた茶道具と、掛け軸の代わりに平山郁夫画伯の作品が置かれ、その中の月を、お月見の月と見立てたとの説明でした。第二席は東阿部流が担当で、隣の和室で行われ、阿



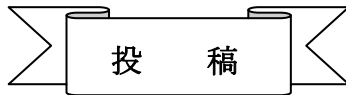
部治子先生が席主でした。こちらで使われた茶碗はやや大きめのもので、一煎も二煎も湯量は第一席よりも多かったです。

掛け軸、盛り花、茶道具の詳しい説明があり、20名を越す参加者もうなずいており、茶道に深い造詣を持っている方が多いようでした。いずれにせよ、日ごろ教わっている抹茶とは全く違うお手前で、興味津々での半日の体験でした。

- ◆雨やんだ。雨やんだ。(佐々木 正)
- ◆定期健康診断で異常なく、検査項目はほぼ満点合格でした。うれしい！ことです。(下山邦夫)
- ◆金沢香林坊ロータリークラブ友人「大樋年雄」君の作品、「琥珀雪山」が「日展」工芸美術部門で日展会員賞を受賞されました。若手の将来有望な作家です。(竹内賢治)
- ◆今年も無事にハッピーバースデー
朝起きてみれば嬉や今日も又、この世の中の人と思えば！(杉山友一)
- ◆①全日本プロバス協議会に多数ご参加申込み頂有難うございます。盛会期待しています。
②研修例会晴れた！！バンザイ 委員会の皆様ごくろうさまです。(立川富美代)
- ◆先月末、通っている陶芸教室の旅行に参加しました。初日、佐川美術館。翌日、宇治の朝日窯で作陶、その後、浄瑠璃寺へ。3日目、河井寛次郎美術館、近藤悠三記念館。最後に、よし廣製菓で和菓子作りに挑戦してきました。種々の作品を見て今後の作陶に参考になると思います。(高取和郎)
- ◆孫が幼稚園の運動会で「かけっこ」をした。全員が両手を上げてゴールして一等賞。じいちゃんも、連続シャッターを切って写真は大作で一等賞。(荒 正勝)
- ◆アアー 後期高齢者になった！(山崎修司)
- ◆“ボケない” マージャンクラブ設立を秘かに計画中です。初心者・女性歓迎です。委細は後刻同好会で報告！(澤渡 進)
- ◆先日、恒例の秋季囲碁大会で念願の初優勝を遂げました。日頃の研鑽のお蔭といたいところですが、フロックのお蔭だと思っています。(矢崎安弘)
- ◆11月23日が私の Birthday です。この日は戦前戦後を通じて国民の休日です。ですから、私の Birthday はいつも祝日です。この日に生んでくれた両親に感謝しています。しかし、人生には限りがあります。そこで一首。
バースデー エデンに向かう一里塚 めでたくもありめでたくもなし(東山 榮)
- ◆15周年準備会で会費を千円余分に出された方

がおられました。返金先不明のためハッピーコインとさせていただきます。

◆ついに64才の誕生日を迎えてしまいました。仕事に趣味に遊びにと健康で元気に暮らしている事に感謝しています。昨年結婚した娘に早く子供が出来ないか、心待ちしています。(増田由明)



私のボランティア活動 濱野 幸雄

私は定年後のボランティア活動として現在も続けている事がある。今から9年前、東京農工大学工学部付属繊維博物館(現東京農工大学付属科学博物館)から依頼されて、展示機械の動態化に取り組んでいる。2000年に9名で立ち上げた繊維技術研究会も現在登録会員だけで32名を数えるようになった。メンバーのほとんどは過去に繊維関係の仕事に携わった経験がある技術者集団である。夫々が得意の分野で展示機の動態化に取り組んでいると同時に展示された機械のキャプションの作成や技術史に関する調査研究も行っている。

毎週火曜日を活動日としているが、私は今まで400日近く通っただろうか。この間手がけた機械は、昭和の初期に製造され活躍したと思われるポンコツ織機4台で、今ではそれぞれ布が織れる状態で見学者に実際に動かして感動を与えている。

特に今回は私がいつも自慢している豊田自動織機製作所製の**無停止杼替式自動織機(G型)**について触れてみたい。

この織機は1927年製(昭和2年)で、**豊田佐吉**が1902年(明治35年)に発明に着手して以来、23年に亘って研究と創造を重ね、1924年(大正13年)に発明完成されたと同じ形式の物であり、世界最初で最高性能の無停止杼替式自動織機である。それが博物館に移設展示以来、部品も欠落し、経糸の仕掛かりもなく展示と言っても鉄の塊同様の物であった。それを復元するために名古屋にある豊田産業記念館に出かけ、担当者の指導を受けたり、部品の調達、不足品は手作りしたりして、3年ほど前によく動態展示にこぎつけた。

この織機が博物館として動態展示されているの

は世界で3台目(東京国立博物館、大英博物館、当科学博物館)であると言われている。

この織機を発明した豊田佐吉[慶応3年2月14日(1867年)~昭和5年10月30日(1930年)]は現在の静岡県湖西市に生まれ、家は代々農業で、父は大工を兼業していた。村の寺子屋教育を受けた後、小学校を卒業し父親の大工を手伝った。

村の勉強会で読んだ「西国立志編」(1870~71年刊)に感激し、1885年に公布された専売特許条例に刺激されて発明家を志した。遠州木綿の産地の幼稚な手織織機の改造に取り組み、1897年(明治30年)日本最初の小幅織物用木製動力織機を発明、これによって生産性は4倍以上、コストは半分以下となったが、更に研究改良を重ねて前述のごとく23年の年月をかけて父の佐吉が種を蒔き、息子の喜一郎が実らせた偉大な発明であった。G型自動織機完成時の特許件数(1887~1930年)は119件(発明特許84件、実用新案35件)である。

この織機を見た当時世界有数の繊維機械メーカーだったイギリスのプラット社の技術者が「マジック・ルーム」と感嘆したと言われている。そのプラット社と豊田喜一郎との間で欧州におけるライセンス契約が締結され(1929年)豊田父子の織機は国際的に認められ、世界の織機王の名声を博した。また、佐吉は自動車の研究を進める提案を遺言として残し、その特許権使用料はかねてから自動織機の発明を助けていた喜一郎によって国産自動車の研究・開発に向けられ「外国技術は学んでも、真似はしない」という純国産技術で自動車工業を興し、今日のトヨタ自動車の礎を築いた。

豊田佐吉は自ら自動織機を発明するばかりでなく、日本人の発明能力の開発にも努め、帝国発明協会に対し100万円(大正13年5月)を寄付した。1985年には工業所有権制度100周年を記念して「日本の偉大なる発明者10名」に選ばれ政府から特別顕彰されている。

編集後記；天皇ご即位20年、天皇、皇后陛下ご結婚50年を記念した皇室の名宝展。また、八王子いちょう祭30周年に際し大野聖二会員に八王子市長から感謝状の授与とお目出度いこと尽くしの11月でした。

情報委員会